

## 本講演会について

心臓移植が必要な重症心不全患者は、人工心臓装着後、5年程度の待機期間をへて移植が行われています。人口1,000万人を有する中国・四国地方において、多くの重症心不全患者の治療が、近畿や九州の拠点病院で行われてきました。しかし、実施施設の医療資源や地理的な問題などから、中国・四国地方での治療体制が望まれてきました。

これらの背景を受けて、当院では2014年に植込型補助人工心臓実施施設の認定を受けて、地域の重症心不全治療の中核施設としての役割を果たしてきました。現在まで15名の植込型補助人工心臓（VAD）装着を行い、移植待機患者として外来管理（VAD外来）を行っています。そのうちの1名は心臓移植まで到達できました。

今後、当院が心臓移植実施施設を目指すことで、中国・四国地方における重症心不全患者の治療拠点としての役割を拡充させ、全国で100万人を超える心不全患者、死因第2位の心疾患の治療成績の向上にも寄与したいと考えます。

心臓血管・呼吸器外科学講座  
教授 泉谷 裕則

## 第1回心臓移植に関する講演会 開催のご案内

### ～実施施設を目指して～



- 開催日時：令和2年11月4日（水）17：00～18：00
- 開催場所：医学部40周年記念講堂
- 参加対象者：医学部・附属病院教職員（事前申込不要）
- 講演会内容：心不全・人工心臓・心臓移植について
- 講演者：
  - 1) 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座 教授 山口 修
  - 2) 附属病院診療科第二内科 医員 三好 徹
  - 3) 心臓血管・呼吸器外科学講座 教授 泉谷 裕則
- 問い合わせ先：  
心臓血管・呼吸器外科学講座  
(電話：[REDACTED]、メール：[REDACTED])